令和5年度 山口市農業委員会年次総会議事録

1 日 時 令和5年4月27日(木) 16時15分～17時00分

2 場 所 防長苑 会議室

3 出席者 (1)出席委員(農業委員24名中18名)

荒瀬 澄枝、井上 浩一郎、上田 正士、小野 基之、
海地 博志、片山 潤之、神田 一夫、恒富 竹司、
徳田 文雄、中川 恵美子、長尾 誠大、原田 好子、
藤村 守、藤原 敏郎、安田 敏男、安野 正純、
山根 良男、吉富 崇子

(2)欠席委員(6名)

伊藤 三枝子、伊藤 良一、伊藤 良雄、賀屋 忠之、
重國 誠司、山根 伊都子

(3)事務局

岸本局長・森原参事・藤田主幹・多田主幹・嘉悦

(4)会議傍聴人

なし

4 会議 (1)議事録署名委員指名

原田 好子、藤村 守

(2)議案審議

下記のとおり

荒瀬会長職務代理

それでは、ただいまから令和5年度山口市農業委員会年次総会を開催いたします。在任農業委員総数24名、開会時出席委員18名、欠席委員6名でございます。

「農業委員会等に関する法律第27条第3項」の規定により、委員の過半数が出席しておりますことから、本日の総会が成立したことをご報告します。

また、「農業委員会等に関する法律第29条第2項」の規定により、農地利用最適化推進委員にもご出席していただいております。したがって、ご意見等があれば、推進委員さんもお発言ください。ただ、議決権は農業委員のみにありますので、ご了承ください。

続きまして、次第3、山口市農業委員会安田会長がごあいさつ申し上げます。

安田会長

開会にあたり、ひと言ごあいさつ申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、実に4年ぶりとなる年次総会のご案内をしたところ、田植えの準備など、農作業でご多用の中にもかかわらず、多数の皆様のご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

昨今の農業を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化や担い手不足、担い手の減少に伴う遊休農地の増加など、依然として厳しい状況が続いております。さらに、有害鳥獣による農作物被害の拡大、世界情勢の影響により農業資材が高騰する一方で、農業生産物の価格は低迷するなど農業経営は逆風にさらされています。

そうした状況の中、農地の担い手への集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進など、農地利用の最適化に向けて農業委員会が果たすべき役割には期待が寄せられており、各委員が連携・協力しながら、引き続いて取り組んでまいりたいと考えております。

さて、この度、農業経営基盤強化促進法の改正により、これまでの「人・農地プラン」が法定化され、それを土台に将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」を定めることが義務付けられました。

高齢化や人口減少の本格化により農業者の減少や耕作放棄地が拡大し、地域の農地が適切に利用されなくなることが懸念される中、農地が利用されやすくなるよう、農地の集約化等に向けた取組を加速化し、地域で守り続けてきた農地を、次の世代に着実に引き継いでいくことを、その目的としています。

この計画については、県、市、農業委員会、JA、農地中間管理機構、土地改良区など関係機関が、それぞれ役割分担しながら策定することになりますが、農業委員会には、

将来の担い手を地図上で位置付ける「目標地図」の作成が求められるとのことです。これから、関係機関の協議が進む中で、委員の皆様と情報共有しながら、相談させていただきたいと考えておりました、その際にはご協力のほどよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、本日の総会では、これからの農業委員会の運営が円滑になるとともに、地域の農業を守ることができますよう、皆様方の忌憚のないご意見をいただくことをお願いいたしまして、簡単ではございますが、ごあいさつといたします。

荒瀬会長職務代理

ありがとうございました。本来であればご来賓をお招きし、ごあいさつを頂戴いたしますところですが、本年は会の簡素化を図っておりますことからこのまま議事に移ります。

したがって、次第4、議長の就任を行います。本日の議長は、山口市農業委員会総会会議規則により、安田会長が務めます。安田会長、よろしくお願いいたします。

安田会長

それでは議長を務めさせていただきます。総会を始める前に、議事録署名人の指名を行います。本日お越しの、議事録署名人に

藤村守委員、

原田好子委員のご両名を指名いたしますので、よろしくお願いいたします。

それでは、議案に入ります前に、農業委員会憲章について確認をいたします。神田運営委員、お願いします。

神田委員

それでは、議案をお開きください。

この山口市農業委員会憲章は、平成31年1月25日全員協議会において採択されたものです。本日は、この憲章を読み上げますので、ご確認をお願いいたします。

【山口市農業委員会憲章読み上げ】

安田会長

はい、ありがとうございました。これより、次第6、議事に入りたいと思います。「議案第1号 令和4年度山口市農業委員会業務報告」について恒富運営委員が説明します。

恒富委員

令和4年度山口市農業委員会業務報告です。

令和4年度の農業を取り巻く情勢につきましては、大変厳しいものがあります。皆様方におかれましては、農業委員会組織の一員として農地等の利用の最適化の推進業務

や行政機関への意見の提出など、確実な成果を求められているところです。コロナの中、大変ご苦勞でございました。感謝いたします。内容につきましては、ここに書いてある通りですが、農業委員会事務局からの補足説明を交えて説明したいと思います。農業委員会組織の充実強化につきましては、農業委員、農地利用最適化推進委員の皆さんと連携をして、各地域の特性を生かして、取り組んで参りました。それを基本として、農地の整備、転用、権利移動・転用許可の審査、審議、農地利用の適正化業務等を行って参りました。一方、皆さん方の知識の習得や資質向上のための研修を行い、農業委員に課せられた責務について、農業委員、農地利用最適化推進委員が自律的、自発的に取り組んでもらいました。総会につきましては、年次総会はコロナのために中止になりましたけれども、地区で説明をして了解を得たところです。

通常総会につきましては2年ぶりに毎月開催することができました。また研修等におきましては、11月19日の山防地区の研修会では相続登記の義務化、農業委員会に求められる役割と、遊休農地対策。1月の26日には年次研修会を行い、インボイス制度につきまして、皆様方によりよい知識の習得に向かって研修をさせていただきました。

またそれぞれの研修につきましてはここに書いてある通りですが、それ以外に農地パトロール、遊休農地の状況調査につきましては7月から9月にかけて実施しました。本当にご苦勞でございました。

また、10月19日には山口市農業農村重点施策についての意見書を山口市に提出することができました。

また、農業委員会だよりにつきましては11月1日に1万6千部を発行しております。業務報告の概要につきましては以上でございます。本当にご協力ありがとうございました。

安田会長

ただいまの「議案第1号 令和4年度山口市農業委員会業務報告」について、補足説明を事務局に行かせます。

事務局(補足説明)

安田会長

ただいま、報告と補足説明がありました。議案第1号 令和4年度業務報告」についての意見、質問を受けます。意見、質問のある方は挙手をお願いします。

意見が特にないようですので、「議案第1号 令和4年度業務報告」の承認を求めます。承認の方は挙手をお願いします。

【挙手多数】

はい、ありがとうございました。挙手多数です。よって、「議案第1号 令和4年度業務報告」は承認されました。

つづきまして、「議案第2号 令和5年度山口市農業委員会事業計画(案)」を議題いたします。徳田運営委員が説明します。

徳田委員

徳田です。お手元の資料に沿ってご説明します。事業計画案を作成するにあたりまして、事務局、および、各ブロック協議会別の運営委員等が先般集まりまして、事業計画案を検討しました。いろいろと情勢の中で、厳しいコロナ禍、世界情勢、国際情勢を踏まえ、農業委員、推進委員も活動が若干、スムーズにっていないということで、先ほど、会長のあいさつにありましたことを基本に、今後、今年度からコロナ禍も相当規制も緩やかになってきたので、皆さん個々の活動に専念できるように、考え方としては、去年の活動計画案をある程度は踏襲しようではないかという意見で、話が出ましたので、その計画案をもとにご説明申し上げます。

まず、事業計画案ですが、基本方針は、考え方としては、農業者の生活向上に寄与するため諸対策を推進するとともに、農業委員会等に関する法律・農地法・農振法・農業経営基盤強化促進法・農地中間管理事業法・農業者年金法・その他関係法令等に基づく業務を適正に遂行し、山口市農業の振興と基本的な農業施策を確立するための積極的な活動を展開していきます。これが基本姿勢で、事業計画にあります。基本的には組織の育成と農業委員、農地利用最適化推進委員の活動の2点に分けております。

まず農業委員会組織の充実強化です。

農業委員と農地利用最適化推進委員が連携し、各地域の特性を活かす6ブロックの地区協議会制を基本とし、農地の権利移動・転用許可等の審査・審議、農地利用の最適化業務等の活動に取り組みます。また、より高い知識の修得や資質向上のための研修等を行い、農業委員会に課せられた責務に、農業委員・農地利用最適化推進委員が自主的・主体的に取り組む農業委員会組織を目指します。

まず、第1点としては、組織体制の充実・強化です。①で農業委員会の充実、この内容については(ア)で示しているとおり、総会の充実・強化です。②、系統組織「一般社団法人全国農業会議所」と「一般社団法人山口県農業会議」との連携強化を図る。

(2)ですが、地区協議会活動の充実・強化。

(3)研修の実施。農業委員、農地利用最適化推進委員研修の実施。(ア)で、農業委員

会業務や農業施策に関する農業委員、農地利用最適化推進委員研修の実施。(イ)で、先進地視察実施。(ウ)で関係機関が行う農業関係研修への参加。②で他市町村農業委員会の視察受け入れを試みてまいります。これにつきましては、いろいろとある中で、一時中断しておりましたが、今年度から本格的に取り組んでまいります。

今度は 2 番です。これが農業委員会活動の推進です。農業委員会等に関する法律第 6 条第 2 項に基づく農地利用最適化の推進。①担い手への農地集積・集約化。(ア)で農地の出し手・受け手の利用調整。土地改良事業の地域の合意形成。②で遊休農地の発生防止・解消。(ア)で農地利用状況調査(農地パトロール)及び調査に伴う訪問活動(イ)利用意向調査での農地所有者等への働きかけ。(ウ)農業者の営農相談・農地活用相談。(エ)非農地認定に向けた取り組み。③で新規参入の促進・支援。(ア)新規就農者、参入者の相談等。(イ)農地確保の調整活動。④で①～③までの活動に必要な会議等への出席。⑤地域農業の将来像を描く「地域計画」作成・見直しへの取り組み。⑥農地等の利用の最適化の推進に関する指針の見直し。⑦最適化の推進についての具体的な目標値の設定、成果の公表。

(2)で、農地利用最適化推進に関する施策改善の意見書・要請活動の推進。①で意見書提出に向けた活動。(ア)各地区協議会における農地利用最適化推進に関する施策改善の取り組み。(イ)総会での各地区協議会の意見の取りまとめ。②で系統組織を通じた要請活動の実施。③情勢に対応した要請要望活動の実施。

(3)で情報活動の強化。①情報の受発信活動の強化。(ア)農業委員会だよりの発行。(イ)地域の集会や会議等を通じた各情報収集・情報発信。(ウ)市報・ホームページ等の活用。②で全国農業新聞の普及推進。③農業経営の強化と生活安定化のための情報提供。(ア)経営安定のため、関係機関の連携と施策に関すること。(イ)関係機関との調整による農作業標準料金情報の提供に関すること。(ウ)関係機関との連携による農作物等の鳥獣被害防止に関すること。(エ)関係機関が行う農業関係研修の農業者への周知と参加に関すること。(オ)家族経営協定の推進に関すること。(カ)農業者年金の啓発普及、加入推進及び相談活動に関すること。

(4)農地の保全と利用の環境整備。①農地制度の適正な運用。(ア)農地情報公開システム整備事業の取り組み。(イ)相続等許可を受ける必要のない権利取得の届出の周知等、権利移動の把握の推進。(ウ)目標及びその達成に向けた活動計画の作成及び活動計画の点検・評価の実施。②農地の利用促進等。(ア)認定農業者等の利用権設定等の意向やあつせん希望者等の把握と調整活動の推進に関すること。(イ)農地の賃借情報の

提供に関すること。(ウ)小規模農家を含む地域全体での農業基盤等の維持・管理活動に関すること。

(5)です。地産地消・6次産業化の推進。①食農教育の推進に関すること。②6次産業化の推進に関すること。③少量品目の地域内消費システムの研究に関すること。

以上を事業計画案として作成しましたので申し上げます。

安田会長

ただいま、「議案第2号 令和5年度山口市農業委員会事業計画(案)」の提案がありました。補足説明を事務局に行かせます。

事務局(補足説明)

安田会長

以上、提案のありました「議案第2号 令和5年度山口市農業委員会事業計画(案)」について意見・質問を受けます。意見・質問のある方は、挙手をお願いします。

A 委員

我々農業委員会では、ハードルが高い気がしますね。この内容、本当に実行できるかどうか、私共、市役所の職員、これで飯を食っていくのであれば、この内容をやるのが当然だと思いますが、まずはこういった内容、本当に実行できるかどうか考えて、理想もいろいろあるとは思いますが、大事なことは、ここに集まった農業委員が本当にこれを見て実行できるかどうかということも検討されて、構築していただきたいということです。

それとこういったことをやろうと思えば、情報、どういった情報があるかということが重要ではないかと思います。新規就農者が自分の担当地区にどういった方がおられるか。どういった方が、担い手が農地の集積を希望しているか、農地の集積の組み換えですね。そういったことを希望しておられる方がどのような状況か。そういったことがどこから情報を得るかということです。やはり活動、この内容を見ると、この情報に従って活動をしなければならないことがありますので、今後、本当にこういったことをちゃんとやるのであれば、それなりに、農業委員会だけで情報提供は無理かもしれませんが、JAとか農業振興課と、それから農林整備課、こういった所と情報を合わせて提供をされないと、実際の活動に結びつかないのではないかと思います。

以前、私が全国農業担い手サミット、静岡県であった時に参加したのですが、メンバーが、農業委員が非常に多かった、名刺交換している人が。やはり農業委員の過半数は認定農業者でないといけないというふうに言われましたので、それで農業委員の出席が

非常に多いということを感じたのですが、残念ながら山口県からの参加者は、2,000 何人いたのですがその中で山口県から一人。農業委員会の会長さんが多数おられました。話してみると非常に熱心ですね、そういった農業の取り組みに。私ら、その時に農業委員会の忘年会。山口市は今日は農業委員会の忘年会をやりよると言ったら、えーと言って、そういう状況ですね。だから農業委員にもそういった、認定農業者の方にはそういった情報がいつているのかもしれませんが、農業委員にはそういった情報がいつている。そういった全国的な大会があるときに、山口市は、農業委員会の忘年会をやっていると。そういった状況。だから言いましたが本当に実行できるかどうか、これです。計画は。それを踏まえて計画していただきたい。ということで、やはり情報の提供、この2つをご考慮いただきたいと思います。以上です。

安田会長

A 委員さん、ありがとうございました。実行できるのかという問題がありましたけれど、いろいろ計画案がございますが目標を定めてできるだけ、努力をしてみる。ここは必要であろうと思います。情報共有についても、4年間なかなかコロナ等の関係で意見交換、情報交換ができなかった。そういったことも含めてですね、なかなか名前と顔が一致しないということが、現実だろうと思っております。今日はそういう意味では、皆さんに参加していただいたということで、非常に良かったのではないかと思います。

他にはありませんか。それでは特にないようですので、「議案第2号 令和5年度山口市農業委員会事業計画(案)」の承認を求めます。承認の方は挙手をお願いいたします。

【挙手多数】

はい、ありがとうございました。全員挙手でありますので、よって「議案第2号 令和5年度山口市農業委員会事業計画(案)」は承認されました。

以上を持ちまして議案の審議を終了します。

次に次第7の報告に入ります。業務関係資料について、事務局より報告します。

事務局(報告)

安田会長

ただ今、事務局より報告がありました。業務関係資料について、ご意見、質問等あればお願いします。せっかくの場ですので推進委員さんにもご意見質問等があれば遠慮なくお願いします。B 委員さん。

B 委員

ちょっと質問というか、関係資料の中で内容を確認させていただきたいです。7 ペー

ジの山口市農地賃借情報というところなのですが、その中で総件数が、2,648 件あって、資料中、貸借の無料という 1,026 件あるというのは、これは、利用権設定の書類が出てきて、貸借が無料であるとしてカウントされているのでしょうか。

事務局

そうです。

B 委員

要は利用権設定をするのにあたって、賃借料は無いけれども、利用権設定はしていたほうがいいよということで、我々推進員としては、そういった形にした方がいいとか、いやいやそんなのめんどくさいからという農家さんもいらっしゃるの、我々としてはどっちなんだろうかなということで、ちょっとこの質問です。よろしくお願いします。

事務局

申し訳ありません。今この内容、詳細は持ち合わせてはおりません。確認をして次の機会に、申し訳ありません。

B 委員

事務局にお聞きしたいのはですね、利用権設定をするときに、土地登記が実は親父が死んだのだけどころならまだいいのだけれど、実は調べていくとそれは祖父母ということが残っているのです。前回研修で相続登記をしましょうという話をすると、なかなか皆さん、それをしてくれない。新聞紙上では、今度は国に帰属するから、国が面倒を見るのだという話も横行している。いやいや、あなたそれは 10 年前までにしないとイケないのだよという、そんなことは当の本人だから全然思っていない。10 年分払いましょうという…。どうも聞いたら年間 10 万円で、という話もある。それも本当かどうか分からない。要はその辺で、利用権設定も無料という部分については、どうなのかなというのはそういうところなのです。我々もなるべくなら相続は早くやった方がいい、後々困るよというのは言うけれども、なかなか相続権を持っている人はそうは思わない。ただ、田んぼは負の不動産というくらいで…。なかなかどうにかしたいという人も多いです。我々も農地が荒れているというのは、非常に寂しい限りです。そのへんでちょっとお尋ねしたわけです。よろしくお願いします。

安田会長

今、利用権設定の無料ということですけども、今の農業行政を考えたときに、地主さんが、今の農業行政をご理解していただいているということであれば、無料という言葉も出てくると思います。だからお互いに話す中で無料でよいのではないかと設定するこ

ともあるでしょうが、その辺を分かっていない地主さんからは、小作料をいくらいただけるのかということと言われることもありましょう。その辺りは、農業委員、推進委員さんが間に入って丁寧に対応いただいていると思いますけども、やはり大体双方の話し合いの中で、詰めていただくしかないだろうと思います。だから逆に言えば、もう今は田がお荷物の時代といいますか、地域性もあると思いますが、田を耕しながら「田をみなあげるから引き取ってよ」と言われますが、「そういうわけにはいかない。財産だから登記しないと…」というようなことを言いますけれど…。いろいろ人それぞれ考えが違いますので…。その辺はなかなか一律に杓子定規にはいかないのではと思います。この使用貸借、俗に言えば“守り貸借”というかたちですね、今の時代の流れとして表れているといえるのではないのでしょうか。

他にはありませんか。それでは、ご意見質問がないようですので、これで本日の年次総会を閉会します。お疲れさまでした。ありがとうございました。

以上、令和5年度山口市農業委員会年次総会議事録である。

令和5年4月27日

この議事録は正当であって決議事項に相違ないことを認める。

会 長 安田 敏男

署名委員 藤村 守

署名委員 原田 好子

記 録 者 嘉悦 紀代美